

小さな議会のエネルギー条例づくり ～ 3・11後の取り組み～



2014年11月1日

神奈川県大磯町議会議員 渡辺 順子

OWATANABE Junko

1

大磯町の紹介

人口 32410人
面積 東西約7.6Km 南北4.1Km
面積 17.23平方km

H25年 一般会計歳入 約96億円

神奈川県の中央南部に位置し、南は相模湾、
北は高麗山や鷹取山の大磯丘陵地帯で、町
の65%が丘陵地帯です。

気候は海岸沿いに流れる暖流の影響で温暖
です。1885年初代陸軍軍医總監を務めた松
本順によって先端医療のひとつとして、照ヶ
崎海岸に海水浴場が開設されました。

1887年に大磯駅が開場したことによって、海
水浴客が増え続け政財界の重鎮が別荘を構
え、別荘文化が花開きました。現在は首都圏
のベッドタウンとして発展しています。

「湘南発祥地の地」と言われています。

OWATANABE Junko

神奈川県の地図



大磯



町の花

はまひるがお

2

地方議会の女性議員数(都道府県市区町村議会)

地方議会とは都議会・府議会・県議会・市議会・区議会・町村議会。

全国地方議会女性議員数 (2013年12月31日現在)

地方議会議員総数 33,898

女性議員総数 3,933人

女性比率 11.6%

国会の衆議院選挙(2012年12月)

立候補者の女性割合は15%

当選者総数のうち、女性議員割合は7.9%

国際比較すると、188か国中161位

(2014年6月現在 IPU列国議会同盟調査)

OWATANABE Junko

3

女性議員が過半数の大磯町議会

議員定数14名 女性議員 8名 男性議員 6名

2003年に女性議員が半数になり、2007年から過半数となりました。
2014年段階で67.7%。全国の地方議会一番女性議員の多い事例
女性議員の構成は、8人中3名が党員 5名が無所属



OWATANABE Junko

4

大磯町女性議員の構成

大磯町議会 女性議員の構成

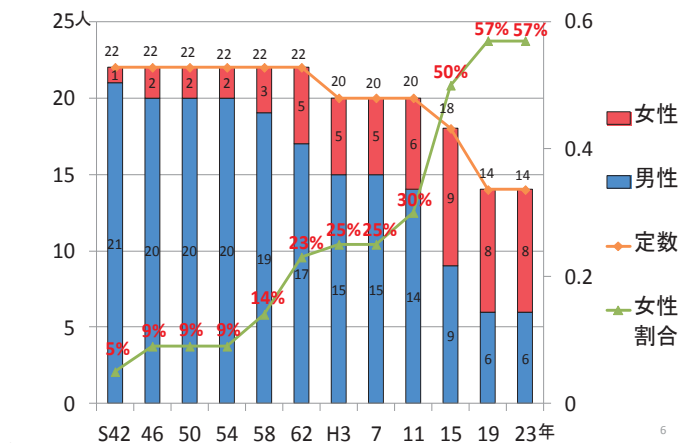
年	女性 議員数	公明党	所属政党 共産党	無所属
1967	1		1	
1971	2	1		1
1975	2	1		1
1979	2	1		1
1983	3	1	1	1
1987	5	1	2	2
1991	5	1	1	3
1995	5	1	1	3
1999	6	1	2	3
2003	9	2	1	6
2007	8	2	1	5
2011	8	2	1	5

OWATANABE Junko

5

大磯町議会の女性議員の数と割合の推移

女性議員の数と割合は着実に増えており、現在では全体の約6割となっている。



OWATANABE Junko

6

福島第1原子力発電所(事故後の画像)



3・11後の大磯町での動き

2011年12月定例会

「大磯町公共施設の電力購入
先変更を要望する陳情書」を
審査 採決

2012年7月臨時会

「新しい日本のエネルギー政策
を早期に求める意見書」を
議員提案で 国へ 提出

2012年7月臨時会

「地域における自然エネル
ギーの活用を振興する条例の
すみやかなる制定に関する
陳情」を
審査 採決

大磯町における住民運動と大磯町環境白書の作成

松橋晴俊先生の大磯町との関わり

大磯生まれ 環境社会学者 2014年8月15日 急逝

1996年大磯町の環境基本条例策定研究会のコーディネーターに就任。
「環境基本条例策定研究会」「海岸地域トータルプラン策定研究会」「ごみ減量化・資源化推進調査研究会」「河川浄化対策研究会」の4研究会からなる、町民参加型の「まちづくり環境問題研究会」を立ち上げた。
その他に「情報公開制度懇話会」「公共下水道事業検討委員会」「女性行政推進会議専門部会」をつくり大磯町の現状調査と政策形成のための検討を行った。

1973年 神奈川県による大磯港再整備計画で大磯の磯が消滅。
なぎさを考える 地元有志とヨットハーバー建設反対運動。
1990年 大磯町に第2水俣病を引き起こした会社の研究所建設計画が起り建設反対運動。
1991年 町長選挙で新町長を誕生させ、研究所建設を中止に追い込む。
1997年 松橋晴俊先生が大磯町環境基本条例策定研究会コーディネーターに就任。
「まちづくり環境問題研究会」設立。
職員と町民が一体となって『大磯町環境白書』を作成。

1998年 大磯町 自治大臣表彰受賞 (住民参加のまちづくり部門)



2011年8月21日 松橋晴俊先生 第1勉強会 日本のエネルギー政策を考える

町行政の動きはどうであったか

- ・大磯町環境基本計画では「省エネルギーの推進」、「自然エネルギーの利用」など20項目の目標を掲げているが、実施には消極的であった。
- ・大磯町議員としての提言
 - ・公共施設で太陽光発電システムの積極的な導入、自然エネルギーの利用を推進する条例作成、町民向け省エネルギー講座開催など、新しい大磯町の環境政策の実施を大磯町総合計画の実施計画へ位置付けるように提言
- ・大磯町長、職員は、エネルギー条例をつくることに消極的な態度
町のすべての事業は、大磯町総合計画に沿って進められているため、総合計画の実施事業とならない限り、条例作成は進まない。
- ・足踏み状態が続く。

条例策定に至る経緯



中部電力浜岡原子力館



原子力館
研修室



実物大燃料棒の模型

13

条例素案の概要

(仮称)大磯町省エネルギー及び
再生可能エネルギー推進条例(素案)

	前文
第1条	目的
第2条	定義
第3条	基本理念
第4条	町の役割
第5条	町民の役割
第6条	事業者の役割
第7条	エネルギー事業者の役割
第8条	連携の推進
第9条	委任
	附則

OWATANABE Junko

14

条例のポイント

エネルギーの地産地消



地域の再生可能エネルギーは、地域のもの
地域で得られた利益は、地域に還元する

OWATANABE Junko

15

条例の位置づけ

環境基本法



大磯町
環境基本条例
【平成12年4月1日施行】



(仮称)
大磯町省エネルギー及び
再生可能エネルギー推進条例
【平成27年4月1日施行予定】

OWATANABE Junko

16

脱原発に向けて

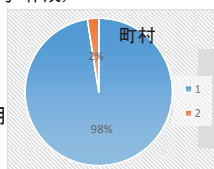
大磯町議会での条例づくり 議員提案された行政関係条例案

●条例とは、憲法94条規定によって、地方公共団体が法律の範囲内で法令に違反しない限りにおいて、地方公共団体の事務に関して定める法規の一種。

●条例を提案できる権利は首長又は議員にある。全国の地方公共団体で政策的な行政関係条例を議員が提案する数は、都道府県：約53.2%、政令市：約12%、特別区：約39%、市：約8.9%、町村：僅か2.3%(図の赤の部分)。少ない理由は議員提案の場合は議員又は議会事務局が作成するので専門的な知識が必要となり、小さな地方公共団体になるほど条例づくりは困難になるため。(廣瀬克哉自治体議会改革フォーラム調査2013年版P141参考・作成)

●神奈川県下で策定された再生可能エネルギーに関連する条例は3例で県と鎌倉市が議員提案。

●大磯町では1年4カ月で作った。当初予定したより3カ月多くかった。



17

OWATANABE Junko

結び

私たちが条例づくりに取り組んでいる間に、国の動向は原発再稼働に向かってしまいました。

この条例は脱原発社会へ向けての始まりです。努力を惜しまず脱原発社会の実現に向けてまい進していく所存です。

OWATANABE Junko

18